

暑中お見舞い申し上げます

ラベルニュース

No431

令和3年7月号

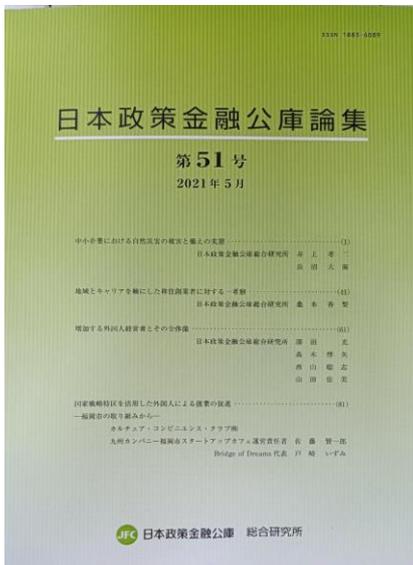
東京都ラベル印刷協同組合

編集:広報・情報システム委員会

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

日本政策金融公庫が高く評価 北海道と九州との緊急時相互委託生産協定を 自然災害のリスクを正しく認識すること大事



日本政策金融公庫総合研究所では、同研究所が発行している「日本政策金融公庫論集 第五十一号」の中で、「中小企業における自然災害の被害と備えの実態」と題した論文で、当組合が北海道と九州の組合との間で締結している「緊急時相互委託生産協定」について取り上げ、この取り組みについて高く評価しました。

今回の論文は東日本は大震災やその後の異常気象や地球温暖化による台風や集中豪雨によって自然災害が繰り返される中、「特に理由はない」という回答も、中小企業は

18.8%、小規模事業者は22.5%と一定割合を占めており、中小企業では四番目、小規模事業者では二番目に高い回答割合となっている。

「ごく稀にしか起こらない巨大自然災害に備えるコストをかける余裕はない」と考える企業は少なくない。BCPの導入に対して「コストが大きい」「困難である」「有効でない」といった否定的な思い込みや、費用あるいは費用対効果の問題が、経営資源が乏しい中小企業において、備えに取り組みない理由となっていることは十分に考えられるとされている。

こうした中で当組合の「緊急時相互委託生産協定」について次のように評価しています。

『例えば、東京都ラベル印刷協同組合は、北海道シール印刷協同組合および九州シール印刷協同組合と「緊急時相互委託生産協定」を締結している。組合員が被災して生産できない状況に陥っても、同時被災の可能性が低い遠方の企業への委託生産を仲介することで、組合員が取引先への供給責任を果たせるようにした。さまざまな製品・商品に貼付されるラベルやシールは、取引先にとっては製品・商品を構成する欠かせない部品である。供給がなければ製造ラインを止めなければならない。得意先からはBCPの提示を求められるケースもある。これまでに協定が活用される事態は発生していないが、生産委託できる先を組合が紹介する体制を整えたことで、組合員は被災時の事業継続が可能になるだろう』と。

そして最後に、備えの必要性を感じないという理由に対しては、二つのアプローチが考えられる。一つは、自然災害のリスクについて正しく認識してもらうことである。

自然災害の脅威が増していること認識していても、自社には関係ないものと捉えてしまえば実際の行動にはつながらない。事業所の所在地周辺のハザードマ

ップを確認する機会をつくったり、本稿で分析したような自然災害の被害が及ぶ範囲や被害の内容を周知したりすることで、事業継続にかかるリスクの存在を知ってもらうことが肝要である。

もう一つは、備えを実施した際のメリット、あるいは実施しないことに対するデメリットを用意することである。融資における金利の優遇や補助金申請の条件にするなど、備えを実施するインセンティブを与える取り組みが該当する。

他方、取引先からの要請によってBCPを策定する企業が多いのは、策定しないと取引がなくなるというデメリットを回避したいと考えるからだろう。

こうした取り組みによって中小企業で備えが実現できたとしても、実際に自然災害が発生したときに有効に機能しなければ意味がない。

策定したBCPの手順を定期的に確認して内容を更新したり、設備を新たに導入する際に改めて事業所

の耐震設備や免震設備がうまく機能しているかを確認したりするなど、一度備えを実施したから終わりではなく、常日頃から自然災害に対するリスクを意識して点検や準備を怠らないようにする必要がある。

自然災害が起こるタイミングはわからない。わからないからこそ、いつ発生しても対応できるようにしておかなければならない。自社の命運は、自らが握っているという高い意識をもって事業に臨むことが求められている。と結んでいます。

二年前の八月に日本ウエストの川越工場で、集中豪雨による川の氾濫で工場が冠水し、多大な被害を受け、完全復旧にはかなりの期間を要するという災害がありました。この時もやはりBCPを作成していなかったために、大きな被害となりましたが、その後同社でも

自然災害に全社を挙げて備えるという機運が盛り上がり、まさに災い転じて福と為すという見本となったのは記憶に新しいところです。

全日本シール印刷協同組合連合会

第52回通常総会を開催

年次大会金沢大会の延期を



田中祐会長

が満場一致で承認されましたが、今年の十月十五日に開催予定だった年次大会・金沢大会は、二〇二三年十月十三日への二年延期が決定しました。

年次大会は来年がIGAS開催と合わせて東京大会が決定しているため、二年延期になったもの。

今年度の事業計画としては、各協組と連携を取りながら「環境問題」「人材育成・営業力強化」「技術力のレベルアップ」等の個々の企業では限界のある課題に対して情報を収集・発信しながらタイムリーなテーマでセミナーや勉強会を企画していく。

また、技術優良工場認定制度も今後継続し、オペレーターの技術力向上に向けた教育研修ツールにできるよう、魅力ある組合づくりを目指すとしている。

任期満了に伴う役員改選では、田中祐会長の続投が決まり、副会長には各協組の理事長が就任、東京正札はの小林淳史副理事長、大阪が新理事長の坂田康司氏が選出されました。

日印産連が第三十六回定時総会開催 SDGsを軸に各委員会と連携して



藤森康彰会長

日本印刷産業連合会(藤森康彰会長)は、六月十八日に東京中央区の日本印刷会館に於いて第三十六回定時総会を開催しました。

日本印刷産業連合会はグランドデザインに基づき「新たな価値創出に 向けた活動」「適正で誠実な企業行動の推進」「地球環境への高い配慮」「社会に向けた情報発信の強化」を基本方針に、国連の提唱するSDGs(持続可能な開発目標)を活動の核として、各委員会と連携して各施策を展開していくことになりました。

また、アフターコロナでの社会の変容を踏まえ、コロナ禍による印刷業界全般にわたる影響を調査・分析

し、コロナ後の事業活動の指針となる情報の発信を行なうため、新たに『アフターコロナプロジェクト』立ち上げます。

二〇二一年度重点施策

①DX(デジタル・トランスフォーメーション)の普及促進による生産性向上リモートワークによる働き方改革の定着もあり、インフラのデジタル化が加速している。生産性向上を目的に、印刷業界としてDXの普及を推進する。

②地方創生の取り組みSDGsの目標に基づいた地方創生の取り組みを推進するため、地方創生で中心的な役割を果たす印刷会社の取り組み事例を広く紹介し、その活動の水平展開を図る。

③地球環境保全の取り組み地球温暖化防止の取り組みは全世界共通の重要課題であり、政府も「2050年温室効果ガス実質ゼロ」を表明した。印刷業界も政府の

方針を踏まえた計画を策定するとともに、グリーンプリンティングの一層の推進、海洋プラスチックごみ問題への対応並びにサーキュラーエコノミー(循環経済)に寄与するeR(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組み強化を関係省庁、経団連などと連携し、推進する。

④女性活躍推進働き方改革への対応とともに、印刷業界における女性活躍の一層の浸透定着を図る。また、多様な人材が生き生きと活躍できる、ダイバーシティに関する情報の発信を行う。

環境優良工場も決定

小規模部門で金沢シール

日本印刷産業連合会主催の「第十九回印刷産業環境優良工場」は、一般部門、小規模事業部門合わせて六十五工場より応募がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、上位賞候補の二社が審査を辞退するという厳しい状況下で行われま

一般部門の「経済産業省商務情報政策局長賞」には、(株)光陽社飯能プリンティンクセンターBASEが受賞、小規模事業部門では(株)大川印刷が受賞しました。

また東海北陸シーリング印刷協同組合の(株)金沢シールが、日本印刷産業連合会奨励賞を受賞しました。

また、今年度は新たな募集は行わず、二〇二二年度に延期し、今年十一月より募集を開始します。

パラテックス販売終了

キムロン在庫若干あり

組合取扱商品の「パラテックス」は、販売元が販売を終了するため、在庫が無くなり次第、組合としても販売を終了することとなりました。

なお、これまでの「キムロン」の在庫が若干ありますので、希望する方は組合にお問い合わせ下さい。

キムロン・厚み・0.75㎜、サイズは584㎜×470㎜です。価格は組合員価格で一枚一万三千円(税別)です。

振り返れば五十年 私のリベル業界半世紀

専務理事 本間 敏道 (11.)

日野理事長時代の平成二年に、台湾の大手粘着紙メーカー四維企業から、ノンセパのラミネートフィルムを組合で扱わないかという話がありました。

以前組合で台湾使節団の際にも同社に何度か行っていますが、台湾のシール業者では、どこもこのノンセパのラミネートフィルムを使っていました。

当時日本にはノンセパのラミネートフィルムはなく、タック紙も含めた資材が値上がり傾向にあったため、セパレートがないので当然低価格になり、何度かテストを繰り返して、セパレートがないために剥離の際に大きな音がするが、これならいけると判断し、組合が台湾から輸入、スリットをしなければならぬので、岡三紙工が代理店となって組合員に販売しました。

が、ある日岡野社長から「在庫しているものがみんな竹の子になってしまった」と連絡があり、駆け付けてみると、見事に竹の子になっているではありませんか。一回竹の子になってしまったものは元には戻らないので、台湾に返品しましたが、台湾に返品の湿気の多い気候が要因でした。

約一年以上販売しましたが、その後国内のメーカーが開発・販売を始めたため、当初の目的を達したという事で販売を終了しました。

この四維企業にはこんな思いもあります。ある日同社の楊会長から電話があり、スリーエムとの特許裁判問題でアメリカに軟禁状態にあったが、本間さんがラベル新聞に書いた記事が証拠となり、台湾に帰れることになった。羽田経由で帰るのでぜひ会ってお礼がしたいというのです。

それから数日後に品川のプリンスホテルでお会いし、食事をご馳走になりましたが、私も楊会長のために書いた記事ではなく、結果的にお役に立っただけなので、なにか面映い気持ちがあったのを覚えています。

さらに当時は人手不足が深刻化し、外国人研修生を雇うところが増えていました。政府は協同組合を窓口にした外国人研修生の招へいを認めることになったので、栗原さんの異業種交流の仲間で、フィリピンに工場を持っている滝野ゴム工業の滝野社長の口利きで、フィリピンから労働者を連れてこようという話が持ち上がりました。

組合主催の説明会を滝野社長の講師で開催し、その後現地に法人を作って何か実績を作った方がフィリピン政府の認可も早くなると言われ、現地に合弁会社を設立しました。そして日本から生地を送って現地で縫製をして、ユニフォームを製造、日本に輸入して、それを組合員に販売することになったのです。

とにかく日野理事長は決断が早く、ノンセパラミネットフィルムにしてもこの外国人研修生の件にしても、次から次へと矢継ぎ早に手を打ち、組合事業を進めました。もちろん栗原さんのアドバイスがあったからこそですが、それは見事な連携でした。

日野、栗原、丸山、渡辺さんがマニラに現地視察に行った際には、池田さんがホテルのバスタブを溢れさせて弁償させられたり、栗原さんが深夜に一人で外に出た、ホールドアップに遭うなどエピソードにも事欠きませんでした。

結局その後不況になり人手不足も解消したので、この話もとん挫しましたが、とにかく色々なことがありました。そしてこの合弁会社はいまだに休眠会社になっ

■ イップスとは

簡単に言うると今まで出ていたことが急に出来なくなったことをイップスといっています。

そして、イップスは誰もがかかかってしまう可能性のある精神的な症状です。ゴルフ、野球だけでなく

No174 健康がいちばん!

野球やゴルフなどに多い

「イップス」とは心の病?

様々なスポーツ（メンタルが重要なもの）で、思い通りのプレーがどうしてもできず、症状として表れてしまうことです。

ゴルフでは昔からよく使われ、イップスにかかるプレーヤーが多いのはそれだけゴルフという競技がメ

ンタルのスポーツだと言うことの表れではないかと考えられます。

最近では、ゴルフだけでなく、あらゆるスポーツにおいて、イップスという言葉が使われるようになってきました。

外部からのプレッシャーや自分の心の中で生じるプレッシャーによって普段は何も考えずにできていることが急にできなくなってしまうのがイップスと言われているものです。

■ イップスの症状

症状は心の葛藤（意識、無意識）により、筋肉や神経細胞、脳細胞にまで影響を及ぼす心理的症状です。

スポーツ（ゴルフ、野球、卓球、テニス、サッカー、ダーツ等）の集中すべき場面で、プレッシャーにより

極度に緊張を生じ、無意識に筋肉の硬化を起し、思い通りのパフォーマンスを発揮できない症状をいいます。また、普段と同じプレーが出来ず、ミスを誘発する

こともあります。

■ イップスになりやすいスポーツと症状例

野球

投手、捕手等、遠くへボールを投げることに、思いつきり投げることは出来るが、近くを投げる事が出来ない。

又は、コントロールが定まらない。投手においては、死球を与え、けがをさせたことにより、内角の厳しいコースを投げられなくなってしまう等、症状も個人個人違います。

ゴルフ

ドライバーでもっと遠くに飛ばしたいという自信から過信に意識が変った時などに筋肉の硬化を起し、打てなくなってしまう。パターの時に一点に意識がいき、指先、手首、肘の周りの筋肉の硬化を起し、簡単なパットをはずしてしまう等、症状も個人個人違います。

この他にもダーツ、サッカー、テニス等があり、代表的な症状例としては、
・筋肉の硬化により思いと違った体の動きになってしまう。
・体の一部分が痙攣やしびれを起こす。

・練習すればするほど悪化

してしまう。

・手や指先、足に力が入らない。

■ イップスとうつ病

イップスとうつ病には密接な関係があります。本来出来るはずのプレーが出来ない自分を責めてしまい、エネルギーを失い、落ち込みから長い期間抜け出せず、うつ状態になってしまいうつ状態になります。また、レギュラーから外されたり、応援してくれる親に申し訳ないと思う心が強く働き、湿疹、にきび、腰痛等、身体的症状からスポーツを辞めたくなり、心の葛藤から自己嫌悪に陥り、うつ病へと症状が悪化していきます。克服するには次の3点からアプローチすることで

①まずは自分の現状を

知り、受け容れる↓心理分析テスト

②物の見方や考え方、受け取り方（意識）を変える↓カウンセリング

③心（無意識）のケア↓催眠療法

【 参 考 資 料 】

<http://yips.jp/class/detail/>

グラフィック株式会社(本社：神奈川県横浜市/代表取締役社長 荒川 康孝)は、小型カッティングマシン

「Silhouette Portrait3(シルエットポートレート3)」を二〇二一年五月二十

七日より日本国内で販売開始しました。

グラフィック株式会社は、コンシューマー向けカッティングマシンの市場の拡大を図る為、2009年10月にSilhouette America, Inc. (米国、ユタ州)を設



silhouette
portrait 3

8inch 小型カッティングマシンシルエットポートレート3

立し二〇一一年九月に世界統一ブランド「Silhouette CAMEO」を立ち上げました。今回発売いたします

「Silhouette Portrait3」は、小型カッティングマシン「Silhouette Portrait2」の後継機種で、CAMEO4シリーズにて好評いただいているツール種類自動検出やマットレスカットなどの

機能を搭載し、コンパクトでありながらも使い易さを更に追求しました。

操作性もシンプルで、重量も約1.6kgと軽量なため、持ち運びにも便利です。

特徴としては、
①カットサイズはA4に対応、最大幅 206mm×長さ 3mのカットが可能
②自動刃出し調整機能、

新ツール、ツール種類自動検出を採用
③使いやすさを追求したBluetoothによるワイヤレス接続が可能
④スマートフォンからもカット可能！モバイルアプリ「Silhouette Go」対応

⑤専用サプライ品、専用ソフトウェアのアップグレード(オプション)で、用途拡大

メディア等、多種多様なサプライ品をラインアップしています。

標準付属ソフトウェア「Silhouette Studio」をアップグレードできるオプションエディション各種、Adobe Illustrator や CorelDRAW からの出力が可能となるプラグインソフトウェア「silhouette CONNECT」も販売しています。また、Silhouette Portrait3 発売に合わせて

新規ツールもラインアップし、今まで以上に様々なニーズに応える、充実の品揃えとなっている。

お客様の様々な用途に対応できる様、グリッターのカッティングフィルムや、フロックのアイロンプリントシート、タトゥーシールなどのスペシャルメディア等、多種多様なサプライ品を一三〇品目以上ラインアップしている。

資料請求はコールセンターまで。0570-016262